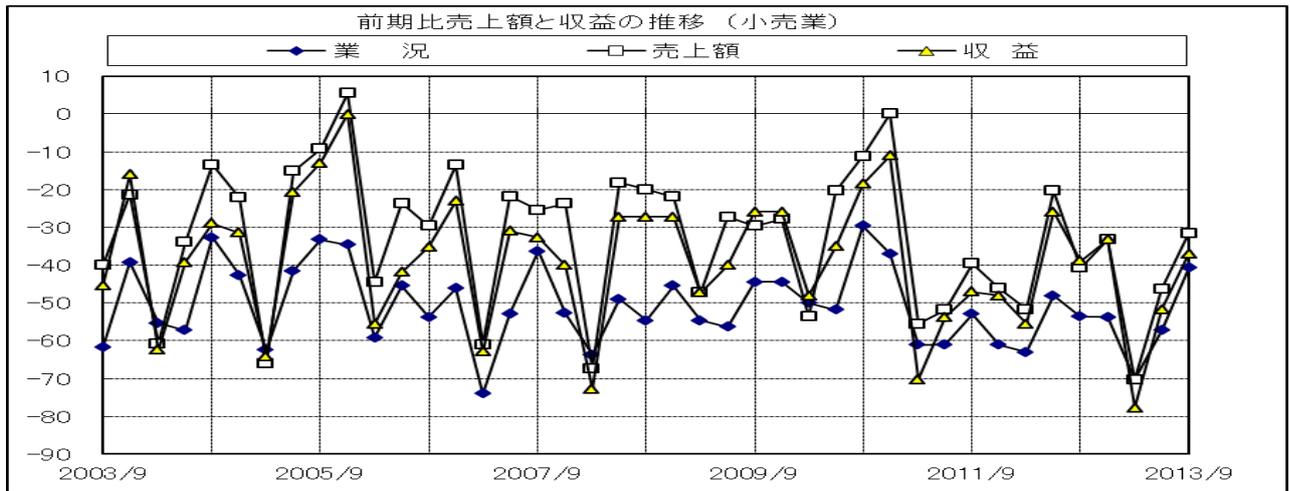


## 小売業 54 企業（回答率 100%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業況	-70.3	-57.3	-40.7	-57.4
売上額	-70.3	-46.3	-31.5	-31.4
収益	-77.7	-51.7	-37.0	-35.2

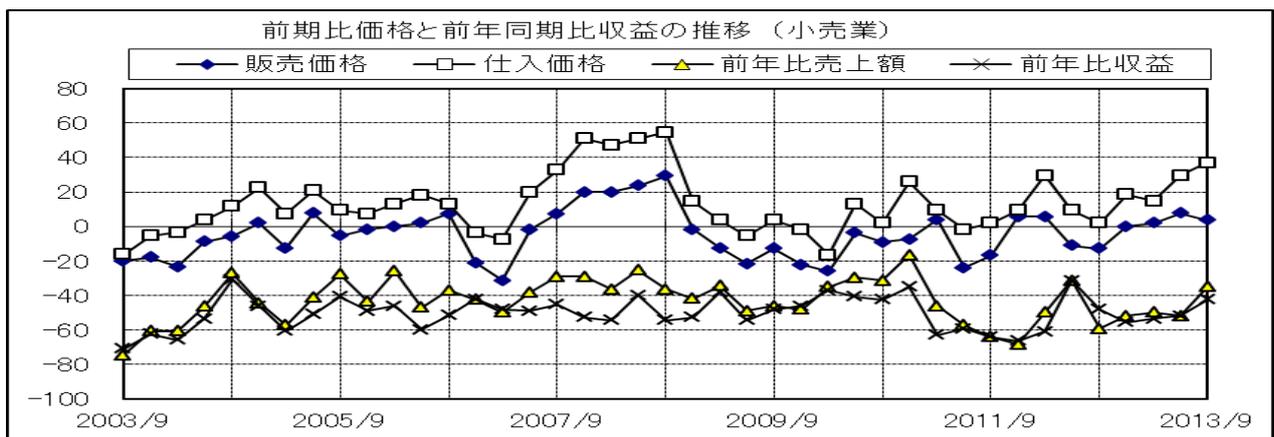
今期の業況判断DIは $\Delta 40.7$ と、前期比16.6ポイント上昇した。地区別のDIの水準は、えりもがトップ、次に静内、様似、浦河、三石と続き、広尾が最も低い値となった。業況判断DIは、前年（ $\Delta 53.6$ ）比12.9ポイントの上昇となった。売上額判断DIは $\Delta 31.5$ と、前期比14.8ポイント上昇した。収益判断DIは $\Delta 37.0$ と、前期比14.7ポイント上昇し低下基調を弱めた。



### □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販売価格	1.8	7.5	3.6	14.8
仕入価格	14.8	29.6	36.9	38.8

販売価格判断DIは3.6と、前期比3.9ポイント下降した。仕入価格判断DIは36.9と、前期比7.3ポイント上昇、価格上昇基調を強めた。業種別にみると、食料品は販売・仕入価格ともに上昇、衣料品は販売・仕入価格ともに下降、家電品は横ばいとなった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-14.8	-16.7	-7.4	-7.4
人手状況	-11.1	-1.9	-3.7	-5.5

残業時間判断DIは $\Delta 7.4$ と、前期比9.3ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは $\Delta 3.7$ と、前期比1.8ポイント下降し、人手不足感が強まった。

## □ 設備投資の動き

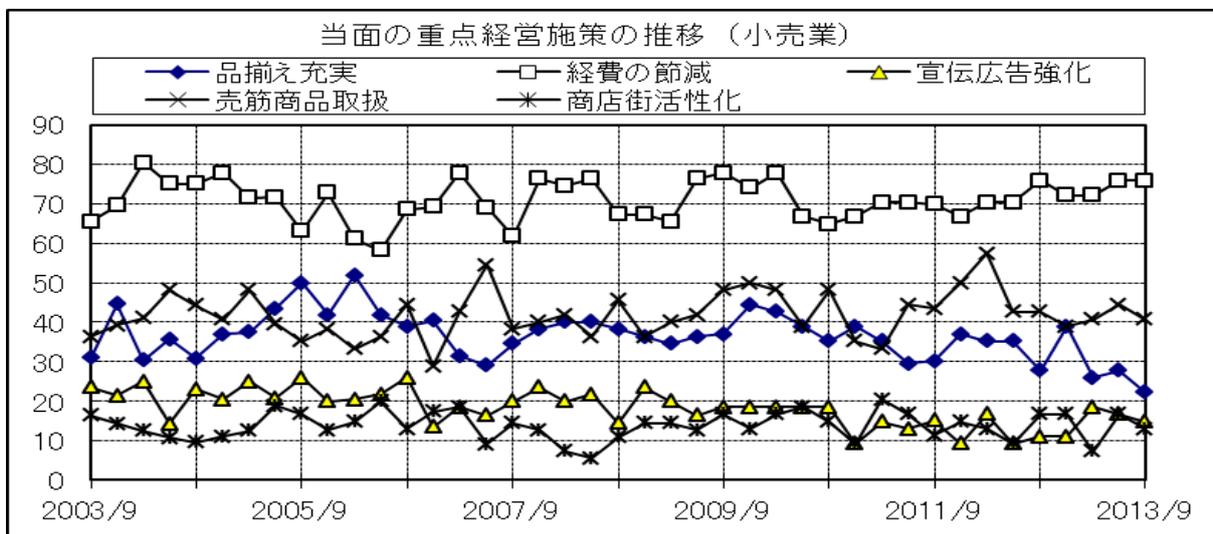
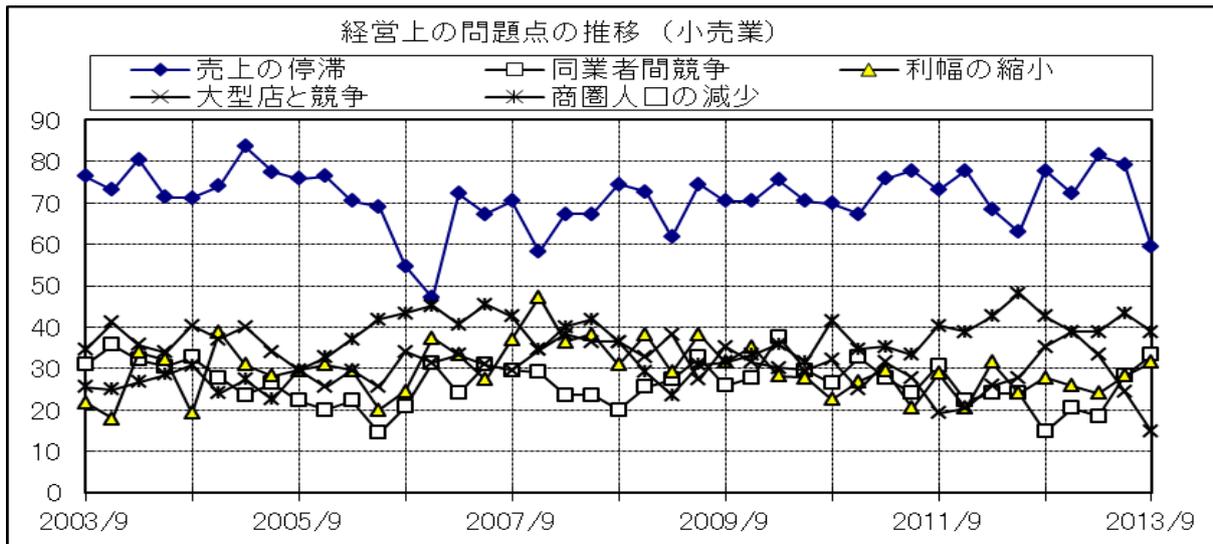
設備投資の充足感を示すD Iは $\Delta 5.6$ と、前期比3.7ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は9.3%と、前期比3.7ポイント上昇、前期の3社に対し5社の実施となった。来期の設備投資は8社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ59.3%、次いで「商圈人口の減少」38.9%、「同業者との競争」33.3%、「利幅の縮小」が31.5%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ75.9%、次いで「売れ筋商品取扱い」40.7%、「品揃えの充実」、「仕入先を開拓選別」が同率の22.2%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは $\Delta 57.4$ と、今期比16.7ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D Iは $\Delta 31.4$ と、今期比0.1ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D Iは $\Delta 35.2$ と、今期比1.8ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D Iは14.8と、今期比11.2ポイントの上昇を見通している。

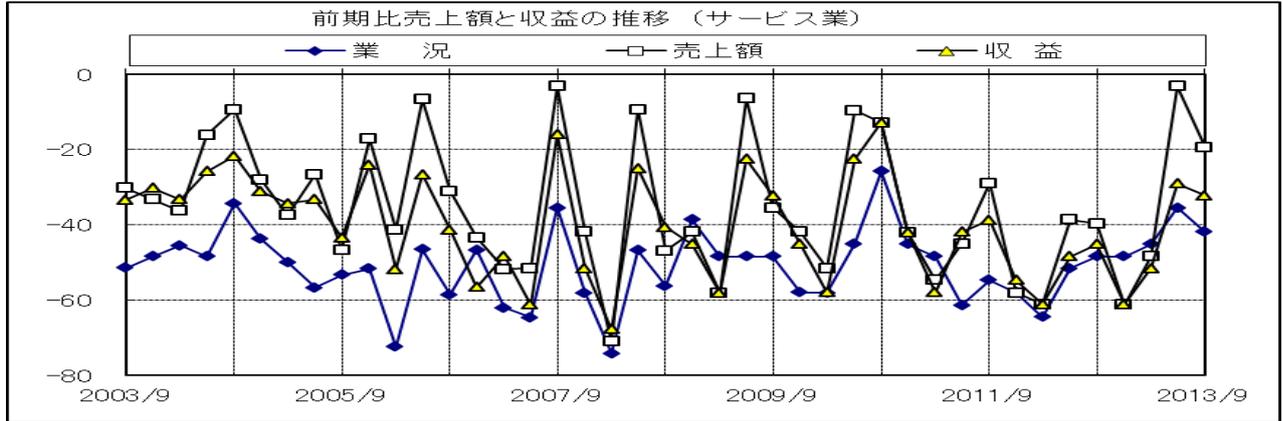
予想仕入価格判断D Iは38.8と、今期比1.9ポイントの上昇を見通している。

## サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-45.2	-35.5	-41.9	-35.5
売上額	-48.4	-3.2	-19.4	-38.7
収 益	-51.6	-29.1	-32.3	-38.7

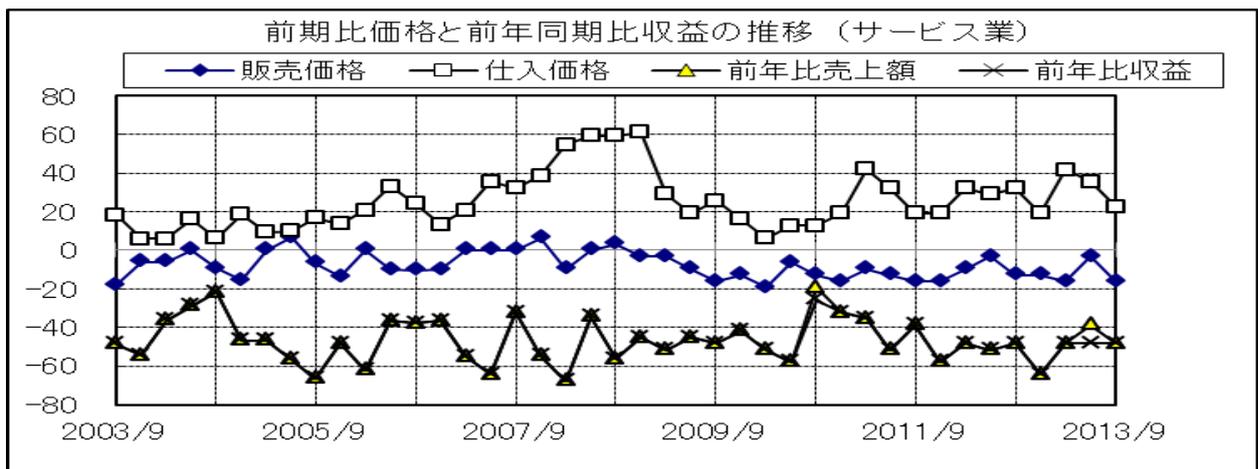
今期の業況判断DIは $\Delta 41.9$ と、前期比6.4ポイント下降した。地区別のDIは、えりもが最も高く、次に三石、浦河と続き、様似・広尾は同水準、静内が最も低い水準となった。業況判断DIは、前年( $\Delta 48.4$ )比でも6.5ポイント上昇した。売上額判断DIは $\Delta 19.4$ で、前期比16.2ポイント下降した。収益判断DIは $\Delta 32.3$ と、前期比3.2ポイント下降した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
料金価格	-16.2	-3.3	-16.1	-19.4
材料価格	41.9	35.5	22.6	19.4

料金価格判断はDI $\Delta 16.1$ と、前期比12.8ポイント下降した。材料価格判断DIは22.6と、前期比12.9ポイント下降し、価格上昇基調を弱めた。業種別にみると旅館、洗濯理美容業では、料金価格は下降、材料価格は横ばいとなった。自動車整備業では料金価格は横ばい、材料価格は下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-25.8	-16.2	-16.1	-3.3
人手状況	-16.1	-19.3	-12.9	-16.2

残業時間判断DIは $\Delta 16.1$ と、前期比0.1ポイント上昇、残業時間が減少したとする企業割合が僅かに減少した。

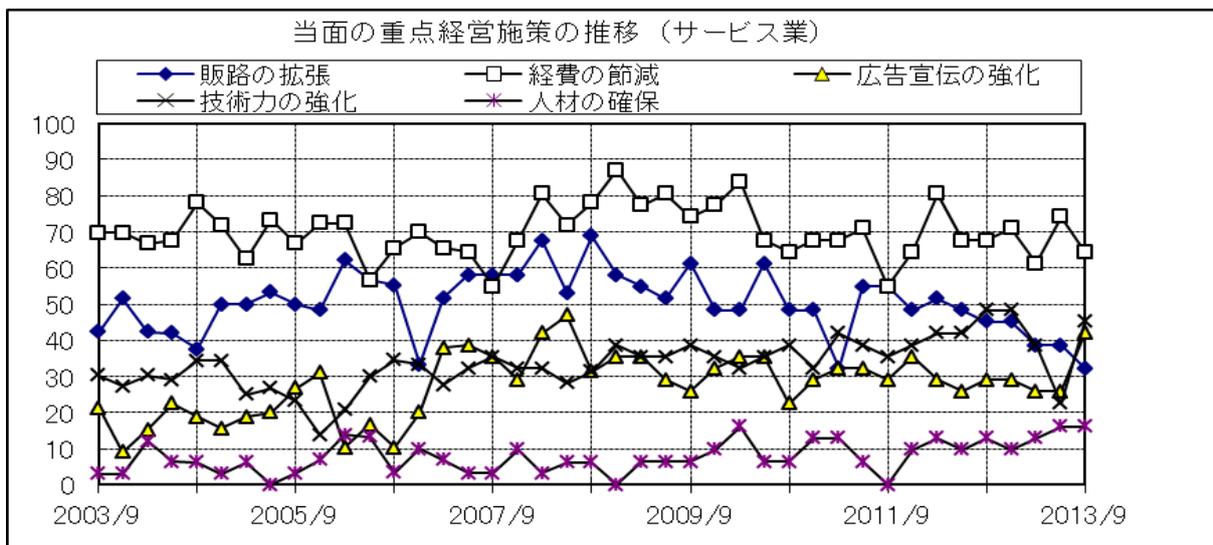
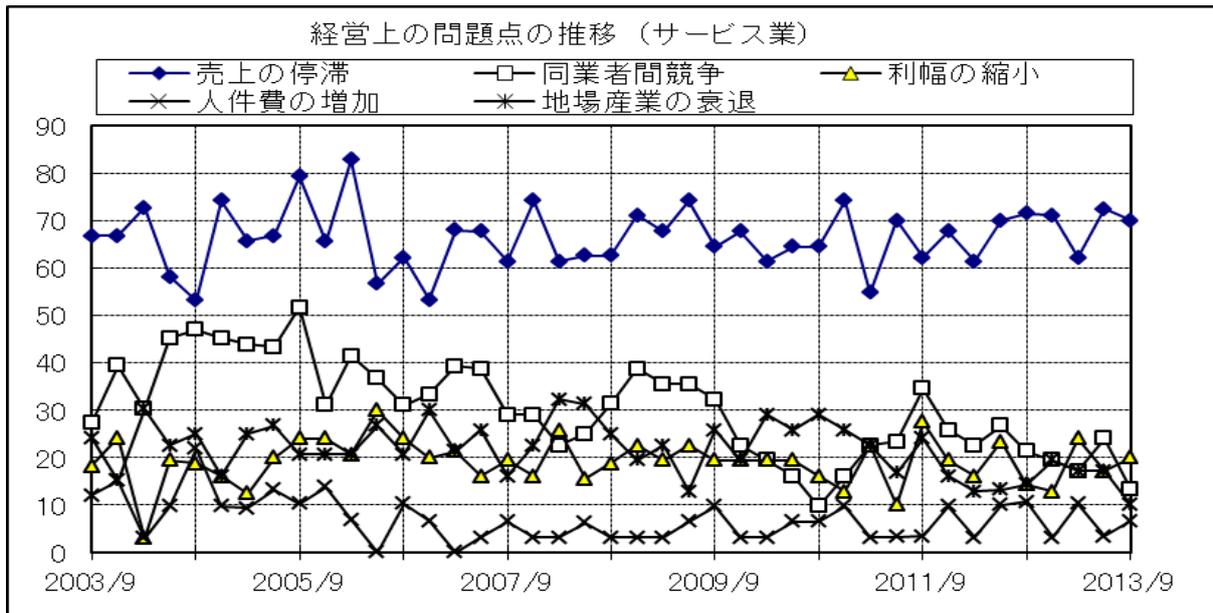
人手過不足判断DIは $\Delta 12.9$ と、前期比6.4ポイント上昇し人手不足感を弱めた。

## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは△12.8と、前期比3.3ポイント上昇し不足感を弱めた。  
 設備投資実施企業割合は25.8%と、前期比6.4ポイント上昇、前期の6社に対し8社の実施となった。  
 来期の設備投資は、5社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ70.0%、次いで「商圏人口の減少」36.7%、「材料価格の上昇」30.0%、「利幅の縮小」が20.0%で続いている。  
 重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ64.5%、次いで「技術力を強化する」が45.2%、「宣伝広告の強化」41.9%、「販路を広げる」32.3%の順となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△35.5と、今期比6.4ポイントの上昇を見通している。  
 予想売上額判断D Iは△38.7と、今期比19.3ポイントの下降を見通している。  
 予想収益判断D Iは△38.7と、今期比6.4ポイントの下降を見通している。  
 予想料金価格判断D Iは△19.4と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。  
 予想材料価格判断D I 19.4は、今期比3.2ポイントの下降を見通している。